

令和5年度必携ノートパソコン基本仕様

本学が推奨するノートパソコンの仕様は次のとおりですが、別途学部、コースで個別に推奨する仕様がありますので、指定表も参照してください。

	推奨スペック	必須スペック (必要最低限として定める要件)
OS	Windows(10以降)又は macOS(12 Monterey以降) Windowsの場合 Home, Pro のいずれでも構わない Windows10の場合は2025年10月までにWindows11へのアップグレードまたは買い替えが必要 Windows365(クラウドPC)は対象外	
CPU	Intel Core i5 第9世代と同等以上の性能を有するCPU(AMD含む) Apple M1, M2 シリーズおよびその後継CPU	
メモリ	8GB以上	
記憶装置(ストレージ)	240GB以上のSSD	128GB以上のSSDまたはHDD 新規購入の場合はSSDが望ましい
無線LAN	802.11ax(Wi-Fi6)に対応	802.11ac(Wi-Fi5)に対応
バッテリー駆動時間	カタログスペックで7.5時間以上	
ディスプレイ	11インチ以上	
入力装置	物理キーボードを有すること(脱着式・分離型でも可)	
外部インターフェース	<ul style="list-style-type: none"> ● USB2.0以上が利用できること ● イヤホン、マイクが利用できること ● ウェブカメラ(USB接続したものでも可) 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 持ち運びすることとなるため、軽量・薄型のものを推奨する。 ● MS Office については、大学で契約している Microsoft 365 Apps for enterprise が利用できる。 ● セキュリティソフトについては、学内ネットワークに接続するPCには、大学で契約しているもの(ウイルスバスターコーポレートエディション)が利用できる。 	

この仕様を満たしたパソコンを推奨モデルとして岩手大学生協でも販売しています。

< 必須スペック設定基準 >

- インターネットを介した教材資料・動画の視聴、Webテレビ会議システムによるリアルタイム授業の受講ができるネットワーク機能、音声・映像入力機能、処理能力。
- Office製品を用いたレポート・プレゼンテーション資料等の作成、データ処理ができる記憶装置(ストレージ)容量と処理能力。
- 3限分の授業が受講できるバッテリー駆動時間。
- 初歩的なプログラミングが実施できる入力機能と処理能力。

学部・コースごとの指定表

学部・コース	準備するPCの仕様、学部・コースからのメッセージ	
人文社会科学部	必須スペックを満たしていること	
教育学部	必須スペックを満たしていること	
理工学部	化学コース	必須スペックを満たしていること
	生命コース	必須スペックを満たしていること
	数理・物理コース	必須スペックを満たしていること
	マテリアルコース	推奨スペックを満たしていること
	電気電子通信コース	推奨スペックを満たしていること
	知能・メディア情報コース	推奨スペックを満たしていること
	機械科学コース	必須スペックを満たしていること 授業の中で大学のPCでCADを扱う機会があるが、これを自身のPCで使用する場合は推奨スペックのWindows PCが必要。
社会基盤・環境コース	必須スペックを満たしていること(メモリは8GB以上を推奨)	
農学部	必須スペックを満たしていること	